

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年11月13日 (2014.11.13)

【公表番号】特表2014-526734(P2014-526734A)
 【公表日】平成26年10月6日 (2014.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報2014-055
 【出願番号】特願2014-529689(P2014-529689)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/12 (2013.01)

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/22 1 1 2 B

G 0 6 F 9/06 6 1 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成26年9月19日 (2014.9.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

コンピュータシステムのアクセスブローカーによって、前記コンピュータシステムのアプリケーションから、前記コンピュータシステムの利用可能な機能性の機能へのアクセスのための要求を受け取るステップと、

前記アクセスブローカーによって、前記要求に応答して、前記アプリケーションのアプリケーションマニフェストに関連する機能宣言にアクセスするステップと、

前記アクセスブローカーによって、前記アプリケーションが前記機能にアクセスするよう構成されるファンクションを含むことを示す宣言を前記機能宣言が含むとの決定に少なくとも部分的に基づき、前記要求を許可するステップと
 を有する方法。

【請求項 2】

前記アクセスブローカーによって、前記機能へのアクセスの許可がユーザ承諾を必要とするとのインジケーションを前記アクセスブローカーのポリシーが含むと決定するステップと、

前記アクセスブローカーによって、前記インジケーションを含むとの決定に応答して、前記要求を承諾するための選択可能なオプションを有する、前記コンピュータシステムのオペレーティングシステムのユーザインターフェース要素の表示を引き起こすステップと
 を更に有し、

前記許可は更に、前記要求に対するユーザ承諾を示す入力を受信に少なくとも部分的に基づき、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記アクセスブローカーによって、前記機能へのアクセスの許可がユーザ承諾を必要とするとのインジケーションを前記アクセスブローカーのポリシーが含むと決定するステップ

を更に有し、

前記要求の許可は更に、前記機能へのアクセスのためのユーザ承諾を示す入力が入力される

ーディングシステム設定モジュールを介して受け取られたとの決定に少なくとも部分的に基づく、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

1 又はそれ以上のプロセッサと、

コンピュータシステムにインストールされるハードウェアデバイスと、

前記 1 又はそれ以上のプロセッサによって実行可能であり且つユーザインターフェース要素を表示するよう構成されるユーザ承諾コンポーネントと、

前記 1 又はそれ以上のプロセッサによって実行可能であるアクセスブローカーとを有し、

前記アクセスブローカーは、前記ハードウェアデバイスのデバイス機能にアクセスするための前記コンピュータシステムのアプリケーションからの要求の受信に 응답して、前記ユーザ承諾コンポーネントに、前記ハードウェアの前記デバイス機能へのアクセスがユーザ承諾を必要とするとのインジケーションを前記コンピュータシステムのブローカーポリシーが含むとの当該アクセスブローカーによる決定の上に、前記要求を承諾するための選択可能なオプションを有するユーザインターフェース要素を表示させるよう構成される、コンピュータシステム。

【請求項 5】

前記アクセスブローカーは更に、前記要求に対するユーザ承諾を示す入力 of 受信に少なくとも部分的に基づき前記デバイス機能にアクセスするのに使用可能なインターフェースハンドルを前記アプリケーションへ提供するよう構成される、

請求項 4 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 6】

前記アクセスブローカーは、前記ハードウェアデバイスの前記デバイス機能にアクセスするための以前の要求に対するユーザ承諾を示す入力の前記要求の受信の前に受け取られたとの決定の上に前記要求を許可するよう構成される、

請求項 4 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 7】

当該コンピュータシステムのメモリに記憶される前記アプリケーションのアプリケーションマニフェストを更に有し、

前記アクセスブローカーは、前記要求に対するユーザ承諾を示す入力 of 受信と、前記アプリケーションが前記デバイス機能にアクセスするためのファンクションを含むことを示す宣言を前記アプリケーションマニフェストが含むとの決定とに基づき、インターフェースハンドルを前記アプリケーションへ返すよう構成される、

請求項 4 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 8】

前記 1 又はそれ以上のプロセッサによって実行可能であり且つ前記アプリケーションを取得するための選択可能なオプションを有するアプリケーション取得インターフェースを表示するよう構成されるアプリケーション取得モジュールを更に有し、

前記アプリケーション取得インターフェースは、前記アプリケーションが前記デバイス機能にアクセスするためのファンクションを含むことを示す前記宣言を含む前記アプリケーションマニフェストから 1 又はそれ以上の宣言を表示する、

請求項 7 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 9】

特定の機能にアクセスするための要求が前記アクセスブローカーによって調停されることを条件とするセキュア実行モードにおいて前記 1 又はそれ以上のプロセッサによる前記アプリケーションの実行を強いるよう構成されるアプリケーションコンテナを更に有する請求項 4 に記載のコンピュータシステム。

【請求項 10】

アプリケーションの実行中に、ユーザ入力装置からの入力に 응답して、前記アプリケー

ションの機能アクセス設定を変更するための選択可能なオプションを含むアプリケーション特有オペレーティングシステムユーザインターフェース要素を表示するステップと、

前記選択可能なオプションが選択されることを示すユーザ入力装置からの入力の受信に
応答して、前記アプリケーションの前記機能アクセス設定を変更するようアクセスブロー
カーを更新するステップと

を有する方法を実行するようコンピュータシステムの 1 又はそれ以上のプロセッサによ
って実行可能な複数のプログラミング命令を有するコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 11】

コンピュータシステムの 1 又はそれ以上のプロセッサによって実行される場合に、該 1
又はそれ以上のプロセッサに、

アプリケーションの実行中に、ユーザ入力装置からの入力に
応答して、前記アプリケーションの機能アクセス設定を変更するための選択可能なオプションを含むアプリケーション
特有オペレーティングシステムユーザインターフェース要素を表示するステップと、

前記選択可能なオプションが選択されることを示すユーザ入力装置からの入力の受信に
応答して、前記アプリケーションの前記機能アクセス設定を変更するようアクセスブロー
カーを更新するステップと

を実行させるコンピュータプログラム。